

アイデアの系譜学②⑥

若澤佑典文学部准教授
(日吉・英語)

<大学教員、落語家、キャスターを並べて眺めてみる>

大学教員とは不思議な仕事です。大勢の10代学生を前にして、「講義」という名の下で90分間何かしらについて喋り、自らの職務を果たしているわけです。日本社会の高齢化が指摘される中、毎日のように若い世代との接点があり、何かを語りかける日常というのは、世間一般の仕事から眺め返すと不可思議な「おしごと」に映る気もします。今回のブックトークでは「喋る」という営みについて、「仕事」というトピックと掛け合わせて、アイデアと経験話、関係する書籍を持ち寄ってみたいと思います。企画者の方では、立川談志『現代落語論』や久米宏の自叙伝『久米宏です。ニュースステーションはザ・ベストテンだった』を持参して、喋る仕事の地平を広げてみようと思います。

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参照しつつ発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回のみの単発参加の両方を歓迎します。

日吉の1～2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集ってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です！

喋ることが仕事！
マジメな教育から愉快なエンタメまで

8月29日(土)

14:00～

15:00 (予定)

※途中入退室可

場所：日吉キャンパス
来往舎1階 103/104
対象：塾生・教職員
(卒業生、高校生も
来場を歓迎します！)

★事前登録不要★

問い合わせ：
toiawase-lib@adst.keio.ac.jp